

【施策評価調査】

施策名	1-2-4	道普請事業の推進		74	施策目的 町道の維持管理を迅速かつ効率的に行うため、地域住民との協働による道路整備・維持管理の技法を整えます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		高根沢町地域経営計画2006	該当ページ		
担当部課	建設産業部都市整備課	担当	都市整備担当		施策内容 町道の維持管理を迅速かつ効率的に行うため、地域住民との協働による道路整備・維持管理の技法を整えます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	阿久津 靖		
環境変化					

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：道普請事業実施箇所数(箇所)	平成16年度事業実施箇所数 7箇所	計画	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所
		実績	7箇所	3箇所	5箇所		
指標：満足度調査		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,834,000	5,700,000	5,599,000	5,700,000	5,700,000
	決算	15,614,000	2,338,796	4,563,667		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	
道普請事業費	H21 現計 18,208,000	整備延長	町民参加による道路整備を実施することで、道路への愛着精神を啓蒙することができるとともに、道路整備費の抑制につながる。また、地域コミュニティーを一層活性化させ、町民主体によるまちづくりの実現に寄与する。		条件付継続
	H22 計画 5,700,000				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	実施件数が増加傾向にあり、町民にとって、取り組みやすい事業であると感じる。今後は整備された道路の維持管理についてシステムを構築するとともに、他施策とのつながりを検討する必要がある。	
現状水準維持			
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価する。農道整備と整合性を図った上で、住民が主体的となって取り組みやすい事業なのか、検証していくとともに、後期計画に向け、他分野で行っている施策(特に協働との係り)と繋がりのある広い視点をもった施策展開を検討していくこと。		